

# がん研ボランティア 活動報告書 (2018)



がん研有明病院  
CANCER INSTITUTE HOSPITAL

## 平成 30 年度 ボランティア活動 年間のご報告

2018 年、がん研究会は創立 110 周年を迎えました。日頃からがん研有明病院のボランティア活動に沢山のお力を貸していただき、本当にありがとうございます。多くの方にご賛同いただき、様々な活動を実施することができましたことに心より感謝いたしまして、一年間の活動をまとめた『ボランティア活動報告書 (2018)』をお届けいたします。



創立 110 周年、がん研全体では第 2 回目の「がん患者さんと歌う第九チャリティーコンサート」が東京芸術劇場コンサートホールで開催、ボランティアわかばのメンバーも 4 名出演しました。前回に続いて出演の方、今回初めての方もいらっしゃいましたが、とても素晴らしい歌声を届けてくれました。当日劇場までかけつけてくれたボランティアのメンバーと一緒に私も客席で応援しておりましたが、舞台からも客席からもがん患者さんを支えよう！という同じ思いを共感することができ、新たな活動への意欲も湧いて参りました。

ボランティア活動でも、このアニバーサリーイヤーに何かできないか、と企画を練っておりましたが、日本テレビアートさまとご縁をいただき、病院ホスピタルストリートに 3 メートルを超えるジャンボクリスマスツリーを設置していただきました。2 階の吹き抜けに立つ大きなツリーにはがん研キャラクターのかにこちゃんのオーナメントが飾られ、100 周年コーナーも素敵な飾付をしてくださったほか、緩和ケア病棟の中庭はイルミネーションで病棟やデイルームも華やかにしていただき、患者さんやご家族、スタッフも参加しての点灯式も実施することができました。年末まで一か月間、沢山の患者さんやご家族、面会の方、そして病院職員にもご覧いただき、皆さまが記念写真を撮られる様子にはとても心が和みました。ボランティア支援室だけではこのように大きなイベントは開催できませんが、記念の年にご協力をいただいたことは、とても大きな喜びとなりました。



また、ボランティアわかばでも 2 年ぶりに「ボランティアチャリティーSHOP」を開催したり、入院中にお誕生日を迎える患者さんへのお誕生日カード、毎年恒例手作りのクリスマスカード、平成最後のお正月を病院で迎える入院患者さんには、干支であるイノシシのストラップ付のカードを栄養管理部のおせち料理と一緒に配布したり、更には前年から準備を進めていた 2019 年 4 月 2 日の創立 111 周年を記念しての祝い鶴の立体カードなど、年間を通じて様々なカードづくりを沢山行い、患者さんの元へお届けしました。カードづくりの活動は直接患者さんと接することもなく、黙々とボランティア室の中で細かい作業を続け、受け取った患者さんの様子を拝見することもなく、時にはボランティアメンバーのモチベーションが下がることもあったかとは思いますが、他の病院ではこれほど手の込んだカードを作っていない、というご意見をいただいたり、栄養士や病棟の看護師、看護助手から患者さんがとても喜んでくださり、ベッドサイドに飾ってくださっているという話を伺い、活動への励みとなりました。

2020 年に東京オリンピックが開催されるのに向けて、競技会場となる有明地区も様々な変化が予想されます。オリンピックのボランティア募集は定員を遥かに超える応募数とのこと、残念ながらがん研のボランティアは応募数も減少しており、今後の活動内容を見直す必要があると感じておりますが、ボランティアの皆さんには引き続き温かいお心で活動に携わっていただき、活動を通じてご自身の生活も豊かなものになるように願って、今後ともご協力を宜しく願いいたします。

2019 年 6 月  
がん研有明病院 ボランティア支援室  
柴田かおり

## 1. コンサート活動のご報告

コンサート活動では病院主催で開催しているホスピタルコンサートの他、演奏ボランティアとして登録している演奏家メンバーによるBGMタイム、ミニコンサートの3つの種類のコンサートを開催し、患者さんやご家族に生の演奏を楽しんでいただいております。病院内にいても日常生活を大切にいただけるようにクラシックからポップス、ジャズ、懐かしの童謡など、様々なジャンルの演奏をお届けしています。コンサートへご出演いただくのは、プロとして活動されている演奏家の方に活動の趣旨にご賛同いただき、音楽の力を通して治療に立ち向かうパワーに繋がれば…と願っています。

### 【コンサート活動の趣旨】

当院では、がん治療を受けられる患者さんやご家族のために、少しでも心穏やかな時間をお過ごしいただけるように、プロとしてご活躍のアーティストの方にご協力をいただき、ボランティアで演奏をしていただいております。コンサート運営は病院職員を中心に院内でエメラルドグリーンのエプロン姿で活動をしているボランティアわかばのメンバーによって運営される手作りのコンサートとなります。がん専門病院での演奏ボランティアであることをご理解いただき、ご自身のリサイタルや演奏技術を披露する場ではなく、患者さんやご家族が治療に向き合うことができるよう、心温まる演奏をしていただける方にコンサートへの出演をお願いしております。誠に恐縮ではございますが、コンサート出演にあたっての謝礼、交通費等のお支払はなく、全くのボランティアでのご協力をお願いしておりますので、何とぞご理解とご協力のほど、宜しく願い申し上げます。

### 【演奏者募集要項】

- ①プロ活動またはそれに準ずる音楽活動をされている方
- ②当院のボランティア活動の趣旨にご理解、ご協力をいただける方
- ③活動に支障なく心身ともに健康である方（患者さんの場合は主治医の許可等、要相談）

## ホスピタルコンサート

【開催日時】2ヶ月に1回（17:00～17:40）

【場 所】1階ホスピタルストリート  
（100周年コーナー）

【開催回数】5・8・10・12・1・3月（計6回）

【対 象】院内のどなたでも

前年より2ヶ月に1回の開催となりましたホスピタルコンサートは、初めてご出演の方から繰り返しご出演の方まで、様々なアーティストの方にお越しいただき、とても素晴らしい演奏で院内を明るく温かな雰囲気包んでいただきました。また、秋から冬にかけてはホスピタルコンサートの2019年度の出演者を公募して、6組の募集に対して22組もの沢山のご応募をいただき、大変有難いことでした。

また、秋から冬にかけてはホスピタルコンサートの2019年度の出演者を公募して、6組の募集に対して22組もの沢山のご応募をいただき、大変有難いことでした。

手作りで運営するこのホスピタルコンサートは、各部署の職員のサポートはもちろんですが、会場の設営、お花の飾付や出演者への花束プレゼントなど、ボランティアわかばメンバー、協力企業の皆さまのお力添えをなくしては実施できません。コンサート運営をサポートしてくれるメンバーからは会場を吉田記念講堂で開催したほうが音響の設備も、座席配置の準備でも都合が良いのでは…というご意見も寄せられており、今後の運営方法を検討していく必要が出て参りました。



## ♪ : 白井麻友ヴァイオリンコンサート

[2018年5月18日 開催]

【出演者】 白井麻友さま（ヴァイオリン）・柳瀬直子さま（ピアノ）



ヴァイオリニストの白井麻友さん、ピアニストの柳瀬直子さんをお招きしてヴァイオリンコンサートを開催しました。当日は多くの患者さんが会場のオープン前から列を作って待っておられるほど、患者さんやご家族が楽しみにしてくださっていましたが、「早春賦」を皮切りに、世界各国の春をテーマにした曲を8曲も演奏していただきました。演奏中はヴァイオリンとピアノが奏でる優雅で美しいハーモニーに多くの患者さんが聴き入っておられました。特にベートーヴェンの「スプリングソナタ」ではヴァイオリンの美しいメロディーから春風の心地よさや花の鮮やかさを感じさせ、客席が幸福感で明るく満ちあふれるようでした。アンコールの「花は咲く」では、目頭が熱くなるのをこらえていらっしゃる患者さんもいらして、演奏が終わると、会場中が大きな拍手に包まれました。「素晴らしい演奏だったね」と穏やかな表情で帰られていく患者さんのお姿が印象的でした。白井麻友さん、柳瀬直子さん、素晴らしい演奏をありがとうございました。

## ♪ : より子コンサート

[2018年8月3日 開催]

【出演者】 より子さま（シンガーソングライター）



今回3回目のご出演となるシンガーソングライターより子さんをお招きして開催しました。呼吸器センター長でボランティア支援室長の奥村先生からの挨拶、より子さんのご紹介後コンサートの幕が上がると、優しく温かみのある歌声が会場全体に響き渡り、会場の皆さんも聴き入っておられました。コンサートではオリジナル曲からカバー曲まで様々な曲を披露して頂きました。より子さんは、会場の雰囲気や患者さんとのコミュニケーションをととても大事にされていて、患者さんからのリクエストで「時の流れに身をまかせ」を演奏してくださいました。沢山の患者さんがリズムにのって、涙を流されたり、笑顔になったりと、喜んでくださいました。また、ご自身も小児がんと闘った経験があることから、歌をうたうと元気が出る、生命力がわいてくる、と力強いメッセージ患者さんを勇気づけくださり、皆さんの心に響いている様子が伺えました。より子さん、本当に素敵な演奏をありがとうございました！！

## ♪ : みちぼっち音楽会～ちいさい秋みつけた～ [2018年10月19日開催]

【出演者】 田中美智代さま（ソプラノ/ミニキーボード弾き歌い）



ソプラノ歌手、ミニキーボード弾き歌いの田中美智代さんをお迎えしました。キーボードのコンサートは今回初めて、どのようなコンサートになのか楽しみお待ちくださった方が多く、病棟からも沢山の入院患者さんがお越しくださいました。

演奏は小さなキーボードとは思えないほど素敵な音色で田中さんの美しい歌声と共にホスピタルストリートに響き渡りました。「月の沙漠」や「ちいさい秋みつけた」の演奏では、一緒になって口ずさむ患者さんもうらっしゃるほど、聴き馴染みのある曲で楽しいひとときを届けてくださいました。



実は田中さん、研究所の実験病理部の広田先生の学生時代のご友人で、リサイタルの他、病院でのボランティアコンサートも開催されているとのこと、演奏プログラムの説明も患者さんやご家族に優しく語りかけるようにお話ししてください、会場がほっこりと温かい雰囲気になりました。アンコールでは、田中さんのご主人さまにも飛び入り参加していただき、「ふるさと」を大合唱、季節にぴったりの素敵なコンサートとなりました。

## ♪ : わたぼうしクリスマスコンサート [2018年12月21日開催]

【出演者】 春風ひとみさま、わたぼうしの皆さま（舞台俳優）



宝塚出身の春風ひとみさんと振付師の前田清実さんを中心にミュージカルや舞台で活躍される俳優のお仲間と結成された『わたぼうし』の皆さまにご出演いただきました。春風さんには2012年に初めてホスピタルコンサートにご出演いただき、その後、2014年からは『わたぼうし』の皆さまと共に毎年ご出演いただいています。コミカルな表情で踊りながら登場された出演者の皆さま、クリスマスにまつわる素敵な小道具たちと共に「クリスマスソング」を披露してください、あっという間に会場にはクリスマスツリーが完成し、温かく明るい雰囲気に包まれました。



続いて宝塚でおなじみの「すみれの花咲く頃」「ふるさと」「ミュージカルメドレー」では、会場全体を巻き込んだパフォーマンスが行われ、自然と体を揺らして穏やかな表情となられる患者さんも多くいらっしゃいました。コンサートの最後、がん闘病の経験もおありの俳優の相島一之さんが飛び入りゲストでご登場くださるサプライズがありました。ご自身の経験も交えながら、とても心強いメッセージで患者さんやご家族を勇気づけてくださいました。素晴らしい演奏を本当にありがとうございました。

## ♪ : 桃瀬茉莉ヒーリングジャズピアノコンサート [2019年1月18日開催]

【出演者】 桃瀬茉莉さま (ピアノ)



初出演となります。ピアニスト・作曲家としてご活躍されている桃瀬茉莉さんをお迎えして、ヒーリングジャズピアノコンサートを開催しました。当日は沢山の患者さんご家族がお越しください、桃瀬さんが織りなす癒しの音楽をお楽しみになりました。コンサートは、映画「ティファニーで朝食を」の挿入歌でもある「ムーン・リバー」から始まり、その後は桃瀬さんご自身が作曲されたオリジナル曲を計5曲演奏して頂きました。



演奏前に曲の説明をしてくださり、曲に込められた思いを伺い知ることができました。桃瀬さんご自身、表情豊かに楽しく演奏されているお姿が会場の皆さんにも伝わって、とても温かな気持ちになりました。プログラム最後の曲は、私たちの人生を表現した曲とのことで、困難にぶつかっても前向きに生きていく様子がピアノの演奏を通して伝わり、大変元気づけられました。ジャズからバラードの要素が入った様々な曲を弾きこなす桃瀬さんに皆さま大きな拍手を送っていました。アンコールは、日本の童謡「赤とんぼ」をジャズ風にアレンジした曲を演奏して頂きました。今年最初のホスピタルコンサート、大盛況で終わることができました。

## ♪ : 原由美子ピアノコンサート

[2019年3月15日開催]

【出演者】 原由美子さま (ピアノ)



当院で以前BGMタイムや緩和ケア病棟のミニコンサートにご協力いただいていた、ピアノ弾きの原由美子さんをお迎えしての開催となりました。当日、会場には多くの患者さんやご家族がお越しください、原さんが奏でる素敵なメロディーを楽しみました。原さんは山がお好きとのことで、プログラム選曲の理由について春山やさくらの情景が浮かぶ、心温まるような説明をしてくださりました。プロフィールからもわかるように、原さんは様々なジャンルの楽曲を演奏していらっしゃいます。今回のコンサートではクラシックから松任谷由実・星野源などのJ-popまで、幅広いジャンルの楽曲をメドレーも含めて10曲ご披露いただきました。



コンサート中は目を閉じて身体でリズムをとりながら演奏を聴かれる患者さんも多く、原さんが奏でる心地よいメロディーに身を委ねていらっしゃいました。また、アンコールでは原さんの伴奏に合わせて全員で「朧月夜」を唄い、会場の雰囲気一体感が生まれました。これから訪れる「春」がより待ち遠しくなるそんなコンサートでした。

## BGM タイム

- 【開催日時】 火曜日 (14:00~14:30)
- 【場 所】 1 階ホスピタルストリート
- 【開催回数】 24 回
- 【対 象】 患者さん、ご家族、面会の方

BGM タイムは音楽を身近に感じていただけるようにと、座席のご用意もありませんが、演奏ボランティアと気軽に話しかけるのも患者さんやご家族にとっては楽しみの一つとなっているようです。外来診察時間中ということもあり、開催にあたっての院内放送も控えているため、始めはどなたもいらっしやらないこともありますが、演奏が始まると、ピアノの音色につられて沢山の方が集まってきてくださいます。演奏ボランティアメンバーも歌詞カードを用意して、最後に一緒に唄えるようなプログラムを準備してくれたり、終演後はピアノを囲んで感想を直接伝えてくださる患者さんとお話したり、穏やかな気持ちになれるひとときです。



## 緩和ケア病棟ミニコンサート

- 【開催日時】 火曜日 (14:45~15:15)
- 【場 所】 12 東緩和ケア病棟デイルーム
- 【開催回数】 25 回
- 【対 象】 緩和ケア病棟の患者さん、ご家族、面会の方

BGM タイムでの演奏が終了すると、演奏ボランティアのメンバーは、ボランティアわかばのメンバーが 12 階の緩和ケア病棟で実施しているティーサービスに合流してミニコンサートを開催します。病棟で開催する季節のイベントに合わせて、プログラムを用意して一緒になって盛り上げています。時には病棟の先生や看護師も患者さん、ご家族と一緒に演奏に耳を傾けてくれることもあり、緩和ケア病棟での演奏ボランティアの活動は大切にしていきたいと考えています。



## 2. ボランティアわかばの活動のご報告

さわやかなエメラルドグリーンのエプロン姿で、院内で最も多くの活動をしている「わかば」では、新たに4名の方が加わってくださり、男性：4名、女性：34名、総勢38名のメンバーで年間を通じて様々な活動を実施することができました。

### 【ボランティアわかば募集要項】

- ①18歳以上の方（高校生不可）、活動開始時の年齢が65歳位までの方
- ②当院のボランティア活動の趣旨にご理解、ご協力をいただける方
- ③原則、週1回（最低月2回以上）、1日2時間以上の活動を6ヶ月以上継続できる方
- ④体力に自信があり、2時間以上の立ち作業ができる方
- ⑤活動に支障なく心身ともに健康である方  
⇒治療中の患者さんのご参加は、ご遠慮いただいております（治療後3年以上経過、要相談）  
⇒2年以内にご家族を看取られた方のご参加は、ご遠慮いただいております（要相談）
- ⑦説明会、面談、研修会、トレーニング（30時間）に参加できる方

### メンバーの活動状況



主に活動する曜日・時間帯・活動内容を決めてご参加いただいておりますが、仕事をしながら活動に参加して下さるメンバーの方は、曜日を固定せずにフリーでご参加いただいております。今年度は110周年記念ということもあり、4月2日の創立記念日に合わせてボランティア支援室からご登録いただいている方への記念品として「おめでとう」の焼き印が入った、門前仲町の「みなとやさん」のお煎餅をプレゼントしました。

【活動日】平日/月～金曜日（土日祝祭日・病院休診日は活動OFF）

【活動時間】（午前）10:00～12:00（午後）13:00～16:00（※各10分前集合）

- ①曜日別登録人数：曜日によってはメンバーが少ない日もありますが、他の曜日でカバーしながら通常の活動が滞ることがないように、参加メンバーの人数に合わせて活動しています。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	フリー
2名	10名	6名	9名	4名	7名

- ②登録者年代：平均年齢59.9歳

年代	30代	40代	50代	60代	70代
人数	1名	5名	14名	16名	2名

- ③活動実績：参加時に記入していただく活動記録IN/OUTの時間より計算し、最も多く活動にご参加いただいた方は、参加日数（74日）、時間数（392時間）でした。

月	活動実日数	活動延人数	活動総時間数	平均活動時間数	実活動者数	1日平均活動者数	活動率(%)
計/平均	231	1,053	4,753:33	3:37	34.8	4.86	<b>80.85</b>



## 新人ボランティア募集・説明会・面談



江東区ボランティアセンターやがん研の Web サイト、東京都ボランティア市民活動センターやボランティア募集のサイトを利用して、4月からボランティアの募集を開始しました。5月23日(水)にご応募いただいた5名の方にボランティア説明会を開催し、お一人ずつ面談をさせていただいて、選考の結果、4名の方をメンバーとしてお迎えすることになりました。

## 新人ボランティアオリエンテーション・ボランティア研修会



6月15日(金)に午前は新人ボランティアを対象にしたオリエンテーションを行い、活動参加にあたっての心得、ルールを説明しました。志高いメンバーの方にご登録いただき、とても心強い存在です。午後からは先輩ボランティアも交えての研修会を行いました。今年度の総合職の新入職員で、ボランティア支援室兼務になった3名も一緒に参加して、ボランティア活動を一緒に盛り上げていけるように研修会終了後、歓迎の意味も込めて、お茶とお菓子で交流会を開催しました。



## 図書(月～金曜日：午前/病棟図書・午後/外来図書)



最も多くのメンバーが参加している図書活動ですが、病棟の図書は年間で25,741冊もの貸出数となりました。読まれた図書が返却かごから溢れるほどご利用いただく日もありますが、返却かごに戻さずに直接本棚に返される患者さんもいらっしゃいますので、実際はもっと多くの貸出数になっていると思われます。外来の図書ワゴンも、毎日補充しても足りなくなるほど、沢山の患者さんご家族にご利用いただいています。図書の寄贈は396名の方から5,897冊でしたが、募金課による「古本募金」の活動がスタートしたこともあり、前年比は1,000冊ほど減少しました。



## 外来案内(月～金曜日：午前・午後)

### ※医事課と協力しての活動



6名のメンバーが担当して活動しています。来院された患者さんのご案内や受付機、精算機、PHSの操作方法のご説明など、外来医事課の職員と協力しての外来案内の活動では、患者さんやご家族との距離感も近く、様々な質問をお受けするので、緊張感ある活動です。その日の予約数によってかなりの混雑になりますが、笑顔で対応し医事課スタッフにとっても心強い存在です。

## お茶会(火曜日：午後)

### ※緩和ケア病棟・栄養管理部と協力しての活動



3名のメンバーが担当して活動しています。緩和ケア病棟では、イベントやボランティア担当の看護師が夏祭り、ハロウィン、クリスマスと季節ごとに楽しい企画を立ててくれますので、演奏ボランティアのミニコンサートと一緒に、午後のひととき楽しい時間になるようにお手伝いさせていただいています。栄養管理部が用意する素敵なマグカップも、患者さんやご家族の目の癒しになっているようで、カップ選びにも心を配りながら対応しています。

## ソーイング（水曜日：午後）



前年度から病棟からの依頼も少なくなり、またメインで活動していたメンバーの退会に伴い、活動継続が危ぶまれていましたが、ミシンで真っ直ぐ縫うだけの尿パックカバーの製作や、ミシンを使用しないでも作成できる尿瓶キャップづくりは室内作業の一環として続けることができました。病棟からの依頼は、尿パックカバー（32枚）、尿瓶キャップ（1,480個）の払出数となりました。

## 折り紙を楽しむ会（木曜日：午後）



4名のメンバーが担当して活動しています。8階デイルームで活動している折り紙を楽しむ会は、年間で46回も開催し、244名もの患者さんやご家族にご参加いただきました。参加される方がどなたもいらっしやらないこともありましたが、クリスマスには15名の方がご参加くださり、大好評でした。また、緩和ケア病棟にも毎月素敵な折り紙作品を展示しています。

## 室内作業（月～金曜日：午後）



室内作業では各活動の下準備に加えて、イベント準備の他、活動拠点のため、様々な細かい作業があります。積極的にお手伝いくださるメンバーの方には感謝の気持ちでいっぱいです。メンバーが着用するエプロンは、午前参加の方には前日使用分をリネンセンターに出して洗濯の依頼、午後参加の方にはアイロンかけをお願いしています。男性のボランティアさんもアイロンかけをしたり、古くなったアイロン台を新品のように治してくれる方もいたり、通常の活動以外でも力を発揮していただき、とても有難いです。

## お誕生日カードづくり（金曜日：午後）

### ※栄養管理部と協力しての活動



入院中にお誕生日を迎える患者さんが一ヶ月に30名ほどいらっしやいます。手作りのお誕生日カードをプレゼントするこの活動も3年目となりました。カードのデザインは毎年に変更し、お花のリースをイメージしたものが今回のデザインです。ささやかですが、お誕生日のお祝いの気持ちを込めて、毎月お届けしています。

## 行事食カードづくり（七夕・お正月）

### ※栄養管理部と協力しての活動



前年度よりスタートして行事食カードづくりの活動ですが、七夕とお正月の年2回、行事食メニューに合わせて手作りのカードをお食事のトレイに添えました。2018年度は、がん研究会創立110周年ということもあり、七夕カードでは、今年がん治療から10年経過され、無事に卒業されたという患者さんから寄贈していただいた千羽鶴を七夕飾りの由来を書いたカードに鶴を貼り付けました。お正月カードでは、ご主人をがんで看取られたボランティアわかばの一人が、ご自身の特技活かして、干支のイノシシのストラップをお正月に入院される全患者さんにと300個手作りしたものを貼り付け、スペシャルカードとなりました。

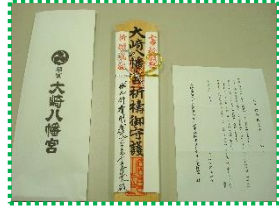
## イベント

### 【端午の節句 : 4/23~5/7】



院内保育園から寄贈された五月人形をホスピタルストリートに展示しましたが、かなり古くなり、兜の一部も行方不明になってしまったことから、今回最後の展示となりました。終了後、大森の本寿院にて人形供養のお願いしてきました。

### 【七夕笹の設置 : 7/2~7/9】



帝都典礼さまのご協力で、ホスピタルストリートに大きな笹を設置し、短冊に願いごとを書いていただきました。今回はアニバーサリーイヤーということで短冊も華やかなものになりました。短冊は七夕で有名な仙台の大崎八幡宮にお焚き上げを依頼しました。

### 【ボランティアチャリティーSHOP : 11/16】



2年ぶり9回目の開催となりましたが、今回も多くの方にご賛同いただき、出品数は1,505点もの数となりました。当日は長蛇の列ができるほど、大盛況でした。

\* 売上金 : 302,000 円      \* 募金箱 : 97,447 円  
\* 販売数 : 1,057 点      \* 来客数 : 302 名

### 【クリスマスカードづくり&サンタクロース病室訪問 : 12/20】



手作りのクリスマスカードに病院長の佐野先生と病棟スタッフからのメッセージを書いて、入院患者さんにお届けしました。クリスマスプレゼントには、入院中にお使いいただけるように、クリスマス柄の食器洗い用のスポンジをお渡ししました。

### 【桃の節句 : 2/19~3/5】



ちょうど10年前に患者さんから寄贈していただいたひな人形七段飾り。毎年、このお雛さまを楽しみにしてくださっている患者さんもいらっしゃいます。飾りつけをしていると、周りを沢山の患者さんご家族が囲んでくださっていました。今回、患者さんから素敵なメッセージが寄せられました。

『ひな飾り今年も会えた嬉しさを かざりし人に感謝の思い』

### 【創立111周年記念カードづくり : 1月~3月】



2019年4月2日に創立111周年を迎えるにあたって、日本で最古のがん専門機関として何かお祝いできないかと、工夫を凝らし、一枚ずつ手作りした祝い鶴の立体カードを作成して、創立記念日当日に入院されている患者さんへプレゼントさせていただきました。馬田理事長にもメッセージをいただき、病棟の看護師から手渡ししました。このような活動を通じて、がん研で治療ができて良かったと思っただけのような病院になるよう、ボランティアのメンバーも今後も陰ながら様々なお手伝いをさせていただこうと心に誓いました。

### 3. 外部団体のボランティア活動受け入れのご報告

七夕・クリスマスの季節のイベント開催にあたって、2社の企業の皆さまにご協力をいただきました。社員の皆さまの志が高く、惜しみなく力を貸してくださる姿に、がん研職員も見習うべき点が多々ありました。患者さんやご家族を笑顔にしてくださり、心から感謝しております。

#### 帝都典礼株式会社さま

7月1日～8日



毎年大好評の七夕イベントでは、帝都典礼の皆さまが素晴らしいチームワークでボランティアわかばのメンバーを引っ張ってくださいます。笹の設置、短冊の回収も進んでご協力くださり、活気ある社員の皆さまに私たちボランティアメンバーも元気をわけていただいています。永年ご縁をいただいておりますが、これからもぜひご協力をお願いいたします。

#### 株式会社日本テレビアートさま

11月30日～12月25日



2回目のご協力となりました日本テレビアートの皆さま、前年よりも更にパワーアップして素敵なクリスマスの飾付をしてくださいました。がん研が創立110周年に合わせてホスピタルストリートにジャンボクリスマスツリーを設置してくださったり、がん研キャラクターかにこちゃんの飾りを作ってくださったりと、若さ溢れる社員の皆さまのアイデアに感動しました。

### 4. 他院の見学受け入れのご報告

2つの病院からがん研のボランティア活動を見学したい！との依頼を受けました。他の病院のボランティア活動を知ることは、自分たちの活動を振り返ることに繋がりました。今後も相互協力していくことができると考えています。

#### 千葉大学医学部附属病院さま

5月11日



千葉大病院ボランティアコーディネーター中井さんが就任された際、がん研でトレーニングをさせていただいたことがご縁で、見学会を開催することになり、千葉大病院のボランティアさん7名が訪問してくださいました。ボランティアわかばのメンバーも参加して活動上困っていること、ボランティアとして心がけていることなどを意見交換することができました。

#### 三井記念病院さま

10月10日



関医事部長からの依頼で日頃からがん研と連携を取っている三井記念病院のボランティア担当の職員お二人をお迎えし、ボランティア図書活動の運営方法をお伝えしました。病院によってボランティアの在り方、考え方は様々ですが、病院としてどのようにボランティア活動を実施していくのか、受け入れるスタッフの心構えなど、改めて考え直す良い機会となりました。

## 5. 活動費、募金・寄付のご報告

### ①ボランティア活動費（年間：700,000円）

コンサート、ボランティアわかば、外部団体の受け入れを限られた予算で運営し、活動別で下記の支出となりましたので、ご報告いたします。

ボランティア支援室 平成30年度活動費報告						
(単位：円)						
区分	活動別	予算	支出	差額	備考	
前年度繰越額	—	-1,760			前年度支出(▲1,760)	
コンサート	ホスピタルコンサート BGM・ミニコンサート	50,000	50,166	-166	ピアノ調律、演奏者CD、写真用紙、POP材料、お茶菓子等	
外部団体受け入れ	カットボランティア等	10,000	2,592	7,408	お茶菓子等	
わかば	図書	120,000	126,261	-6,261	カバーかけ用フィルムルックス、欠巻本等(※1)	
	ソーイング	10,000	0	10,000	生地、糸、マジックテープ等	
	折り紙会	7,000	2,764	4,236	折り紙材料	
	外来案内(医事部サポート)	3,000	0	3,000	掃除用具(※1)	
	お茶会(緩和ケア病棟サポート)	50,000	28,476	21,524	コーヒー・紅茶・お茶・コンディメント、お菓子代(※1)	
	カードづくり(栄養管理部サポート)	25,000	37,540	-12,540	クラフトパンチ、画用紙、カード材料(※2)	
	イベント	七夕	20,000	20,188	-188	七夕短冊材料、お焚き上げ初穂料
		Xmasカードづくり	30,000	57,753	-27,753	Xmasカード材料
		チャリティーSHOP	30,000	40,326	-10,326	SHOP材料
		サンタクロース病室訪問	75,000	48,943	26,057	入院患者さんへのXmasプレゼント、ラッピング材料費
ボランティア活動全般	会議費	50,000	43,586	6,414	ボランティア交流会・懇親会・ボランティア室お茶菓子	
	雑費・消耗品費	220,000	239,786	-19,786	文房具(インク代・のり・テープ)、洗剤等の消耗品(※1)	
合計		¥698,240	¥698,381	-141	次年度予算より差引	

※1: 図書や外来案内、お茶会等で使用している消毒用のエタノール、ガーゼ、エタコト、検査用手袋の他、ボランティア室で使用しているペーパータオルやティッシュ、手指用消毒アルコールは、購買課からの支給のため、上記支出には含まない。

※2: 創立111周年カードはボランティアチャリティーSHOPの売上金を寄付、特別研究費より支出のため年間予算には含まない。(創立111周年カード費用: ¥50,716)

### ②ボランティアわかば募金（募金額：11,626円）

2019年3月末時点でのボランティア室でお預かりしている募金額です。ボランティアチャリティーSHOP終了後にお買い上げいただいた品物代他、ボランティアの有志メンバーからの募金の総額です。2018年度から、募金課による「古本募金」がスタートしたため、ボランティアわかば募金への直接の入金はなくなりましたが、今回のSHOP開催時の売上金と合わせて募金課に寄付いたします。

### ③古本募金（冊数：3,150冊／金額：70,492円）



これまで10年間、ボランティア支援室だけで対応していた古本買取依頼ですが、2018年4月より募金課が『古本募金』の活動を始めたのを機に、ボランティア図書でも寄贈本の買取はブックオフからこちらの古本募金に統合することになりました。寄贈書のうち、ボランティア図書として院内に配置できないものは『古本募金』に買取を依頼し、段ボール53箱分もの数となりました。

※参考：前年度ブックオフ買取（冊数：2,237冊/金額：104,429円）

### ⑤寄付金（金額：402,000円）

ボランティアチャリティーSHOPの売上金（302,000円）と図書の買取金（100,000円）、2回に渡って寄付しました。これまでの寄付金は、総額 **4,457,200円** となりました。

## 6. ボランティア活動に寄せられたご意見



院内に設置の投書箱には、患者さんやご家族から沢山のご意見が寄せられています。ボランティア活動に対しても感謝のメッセージやご要望など様々なお声を寄せていただきました。お手紙や素敵なカードをボランティア支援室に直接お送りくださる方もいらっしゃいます。賛否両論、様々なご意見が届いていますが、私たちボランティアの活動を見てくださっている方がお一人でもいらっしゃると、今後の活動への励みになります。ボランティアの皆さんにとっては毎回同じ活動であっても、ボランティアを受ける相手にとっては、

初めてということが多いです。長く続けると“慣れからくる甘えやおごり”が態度に出ることも時にはあるかもしれませんので、活動を振り返ることも必要です。今後も患者さんやご家族の心に少しでも響く活動ができるように、ご意見の一部をこちらで紹介させていただきます。

- ✖ 初めての来院で、ピアノや歌の演奏を聴かせていただきました。懐かしい昔の歌を聴いて、出ない声を出そうとさせてくれました。演奏されていた「花」は、以前ソプラノで歌ったことを思い出させてくれました。歌詞カード用意していただいて、大事に持って帰ります。ありがとうございました。(外来患者さんより)
- ✖ ピアノの演奏は楽しいですが、悲しい曲または「これから死ぬけれど人生はよかった」というような死に関する歌詞のある曲はさけてください。なるべく元気の出る曲だけをお願いいたします。(外来患者さんより)
- ✖ 本屋大賞の発表がありました！大賞作品は私も忘れられない一冊となりました。外出して本を購入することができない患者さんやご家族の皆さまに読んでいただければと思い、寄贈いたします。ボランティアわかばの皆さまの笑顔にいつも助けられています。大変だと思うのですが、これからもよろしくをお願いいたします。(外来患者さんより)
- ✖ 入院中の長い長い時間をボランティア図書でお借りした本と共に過ごし、久しぶりに夢中になって本を読む楽しさを思い出しました。本当にありがとうございました。今回の入院のために持参した本ですが、皆さまのお役に立てればと思いますので、寄贈します。(入院患者さんより)
- ✖ 本の差入れです。大塚時代での入院中とは違い、有明では通院でも本のお世話になりました。予約していても、どうしても待ち時間があるので、助かりました。多くの方が同じように本を読んでいる姿を見ていました。これからも皆さまの温かいお心で、病気に苦しむ患者さんと、同じく苦しむ付き添いの方たちを癒してください。(外来患者さんより)
- ✖ ボランティアさんのマンガを増やしてほしい。(5階東病棟：小児患者さんより)
- ✖ 年末おしせまって入院、治療。とても辛く苦しい日が続きましたが、体調が落ち着いた頃、ちょうどボランティアさんによるサンタさんがお部屋に来てくださり、プレゼントもいただき、手作りのクリスマスカードに担当の看護師さんからのあたたかいメッセージが、本当に嬉しい気持ちになりました。夜にはわたぼうしの皆さんのクリスマスコンサートもあり、気持ちが沈みがちな暮れやクリスマスの入院も楽しい日を過ごすことができ、力もわきました。これからの治療もがんばります。(8階西病棟：女性患者さんより)

## ボランティア支援室のご紹介

ボランティア支援室では、下記の役割を担うため、スタッフを配置しています。2018年度は兼務職員として、新入職員3名と2年目職員が1名配属されました。また、有明移転時より常勤職員は1名体制でしたが、初めて常勤職員が2名体制となったことも大きな変化がありました。今後、更に充実した活動をしようとして準備しておりましたが、再び常勤職員は1名のみとなりました。

### ■ 職務分掌

1. ボランティア活動の支援に関する事項
2. ボランティアの募集・研修に関する事項
3. ボランティア活動のイベント企画立案・運営に関する事項
4. 外部ボランティア団体の受け入れに関する事項
5. 職員へのボランティア活動への啓蒙活動に関する事項

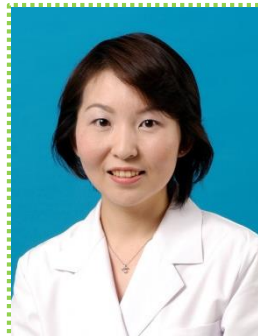
### ■ スタッフ紹介

#### 【室長】



(院長補佐/中央手術部長/  
呼吸器外科/奥村 栄)

#### 【係長】



(ボランティアコーディネーター  
/柴田かおり)

#### 【職員】



(小森由紀)  
※8～11月

#### 【兼務：2年目】



(購買課/室井拓也)  
2017年入職

#### 【兼務：新入職員】



(総務課/石黒優香)  
2018年入職



(給与厚生課/河西由美)  
2018年入職



(医事課/吉田健人)  
2018年入職

ご協力、ありがとうございました！

